



桜だより



2023年2月6日発行

先手必笑 ～先に笑顔で声をかけよう～

「こんなあいさつを、どう思いますか?」と、2月の全校朝会で子どもたちに尋ねてみました。

- 1 何を言っているのかよく分からないあいさつ
- 2 相手を見ないでするあいさつ
- 3 無表情でするあいさつ



子どもたちは、どのあいさつも「良いあいさつではない」と考えているようです。3学期初めに行ったアンケートの中で、「進んであいさつをしていますか?」との質問に対して、「とても思う」と回答した子が全体の8割を超えました。しかし、保護者の皆様や教員の回答からは、ある程度できてはいるけど、まだ不十分だと感じていることが分かりました。

日頃の子どものあいさつを見ていると、声が小さかったり、目が合わなかったり、表情が暗かったりと、気になる点がいくつかあります。あいさつで大切なことは、気持ちを相手に伝えることです。「毎日みんながしているあいさつは、どうだろう」と投げかけ、自分のあいさつについて考えてほしいとお願いしました。

私の体験となりますが、朝の通勤途中に、オレンジ色の作業服を着て道路掃除をしているおじさんがいます。その方は通勤で使っている車の運転手のお友だちなのですが、私たちの車を見つけると必ずあいさつをしてくれるのです。日本人が乗っていることを知ると、「OHAYO」と、とても大きな声であいさつをしてくれます。しかも、満面の笑顔で…。

私はそんなあいさつに出会うと、心がほっこりします。その方に限らず、お店の人、ポルテイロさん、エレベーターで一緒になった人など、皆さん笑顔であいさつをしてくれます。時には見ず知らずの人から声をかけられることもあります。これはブラジル人(カリオカ?)のとても素敵なおところだと思っています。

あいさつの心得は、微笑みながら相手の目を見て、伝わるボリュームで言うことです。今年度も残りわずかとなりましたが、みんなで素敵なあいさつができるよう取り組んでいきます。



今月の生活目標

最近、大変暑い日が続いています。リオらしいと言えばリオらしいのかもしれませんが、熱中症にならないためにも対策は必要です。先日の代表委員会で子どもたちは、2月の生活目標を「こまめに水分補給をしよう」と決めました。まずはしっかりと水分補給をしながら、この暑さを乗り切っていきたいと思います。

また、子どもたちは休み時間や体育の後、たくさんの汗をかいています。汗拭き用タオルや着替え等も、必要に応じて持たせてください。子どもたちが健康で楽しく学校生活が送れるよう、ご協力をお願いいたします。



せいかつちくひょう

2月の生活目標

すいぶんほきゅう

こまめに水分補給をしよう。



